

A. 主な動き

1. 内政

▼大統領の動き

・5日、ヤヌコーヴィチ大統領は、プーチン露首相との電話会談において、4日の露大統領選挙における勝利を祝福し、ウクライナ・露関係は相互理解及び戦略的パートナーシップのもと今後も発展するとの確信を表明。

・7日、ヤヌコーヴィチ大統領は、拡大閣議に出席し、社会福祉向上のための措置を講じるよう閣僚に指示。

・9日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ポロシェンコ前外相を新経済発展・貿易相とすることは既定事項であり、任命は近日中に行う旨発言。

▼ティモシェンコ前首相及びルツェンコ前内相に関する動き

・5日、「バチキフシナ」党は、ドゥグラスOSCE議員会議副議長等がカチャニフスク女囚隔離施設を訪問したものの、ティモシェンコ前首相との面会は許可されなかった旨発表。

・5日、アシュトンEU外務・安全保障政策上級代表は、V4及び東方パートナーシップ諸国拡大外相会合において、ウクライナ政府は欧州の基準に基づきティモシェンコ前首相に対処する必要がある旨改めて発言。

・6日、ルツェンコ前内相は、恩赦を申請する意向はない旨発言。

・7日、「国民自衛」党は、ルツェンコ前内相のバハネツ弁護士は2月27日に国家予算横領及び権限逸脱の疑いによりキエフ市ペチェルスク地区裁判所によって下されたルツェンコ内相に対する有罪判決を不服とし、キエフ市控訴裁判所に控訴を申し立てた旨発表。

▼刑事訴訟法改正をめぐる動き

・6日、大統領付民主主義及び法の支配強化委員会は、2月9日に最高会議第一読会において採択されていた1月13日付刑事訴訟法改正法案は欧州評議会議員議会(PACE)決議の要請への対応が不十分であるとし、本質的再検討が必要である旨勧告。

▼世論調査

[キエフ国際社会学研究所]

・2月中旬に最高会議選挙が仮に実施された場合の政党支持率

地域党:16.5%、「バチキフシナ」党:14.0%、「変化の前線」党:7.9%、共産党:5.7%、「ウダール」党:4.6%、「強いウクライナ」党:3.6%、「スヴォボーダ」党:3.4%等(投票の意思なし:16.1%、態度保留:21.2%)

[レイティング]

・2月に最高会議選挙が仮に実施された場合の政党支持率
「バチキフシナ」党:19.6%、地域党:18.2%、「変化の前線」党:11.2%、共産党:7.0%、「ウダール」党:6.5%、「スヴォボーダ」党:4.3%、「強いウクライナ」党:2.9%等(全ての党に反対:7.9%、態度保留:13.9%)

・2月に大統領選挙が仮に実施された場合の候補者支持率(ヤヌコーヴィチ大統領がティモシェンコ前首相の支持率を再び上回った旨発表。)

ヤヌコーヴィチ大統領:19.7%、ティモシェンコ前首相:19.4%、ヤツェニウク「変化の前線」党首:12.8%、クリチコ「ウダール」党首:6.5%、シモンenko共産党党首:5.6%、チヒプコ「強いウクライナ」党首:3.7%等(全員に反対:6.0%、態度保留:14.1%)

▼その他

・5日、リトヴィン最高会議議長は、ヤヌコーヴィチ大統領と野党代表者との会談が実現することを期待する旨表明し、その決定権は大統領にある旨発言。

・6日、ボンダレンコ地域党議員は、17日に予定されている同党の党大会において、「強いウクライナ」党(党首はチヒプコ副首相兼社会政策相)は解党し、地域党に合流する旨発言。

2. 経済

▼IMF

・5日、アリエールIMF駐ウクライナ代表は英国人のジャビス氏が新たなIMF駐ウクライナ代表に任命された旨及びジャビス新代表は新興市場に関して卓越した経験を持ち、最近ではベラルーシのミッションチーフであった旨発表。

・6日、ヤヌコーヴィチ大統領は、一般家庭向けガス価格を50%引き上げるべきとするIMFの要請は受け入れがたく、決して同意することはできないとし、ウクライナ政府として、まずは個人の収入を増やすところから始めるべきであり、価格を上げるのはそれからである旨発言。

▼ガス問題

・6日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナは2012年のロシアからのガス購入量を410億m³から270億m³に削減した旨、また来年以降は更に削減する意向である旨発言。

▼その他

・5日、ロウ世界銀行欧州・中央アジア担当副総裁は、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバを管轄するウクライナ事務所の新代表にファン氏が就任する旨報告。ファン新代表は今後、ウクライナ政府との間で、ウクライナにおける経済の優先度及び社会発展等を議論する予定である旨発言。

・6日、ホローシャ・ウクライナ非常事態省チェルノブイリ立入禁止区域管理庁長官は、新しい石棺のコストは9億3,500万ユーロになり、本建設は2015年に完了する予定であり、ノバルカ共同事業体(Novarka Consortium)によって行われ、資金はいくつかのドナー国より提供される旨発言。

3. 外政

▼ロウ世界銀行副総裁の来訪

・5日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナを訪問中のロウ世界銀行欧州・中央アジア担当副総裁と会談し、20年に及ぶ世界銀行のウクライナに対する支援に感謝し、今後も協力関係を継続する意を表明し、諸改革により経済成長が達成された旨発言。

▼グリシチェンコ外相のチェコ訪問

・5日、グリシチェンコ外相は、チェコを訪問し、V4及び東方パートナーシップ諸国拡大外相会合に出席。同会合にはアシュトンEU外務・安全保障政策上級代表及びフューレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員も参加。出席者らは、東方パートナーシップ諸国・EU関係強化に関し意見交換し、2013年までの東方パートナーシップ・ロードマップの作成につき協議。
・同日、グリシチェンコ外相は、フューレ欧州委員、メメディアロフ・アゼルバイジャン外相及びパエト・エストニア外相等と個別に会談した後、第17回GUAM外相会合に出席し、GUAMの枠組みにおける協力関係に関し協議。

▼グリシチェンコ外相の訪越

・7日、グリシチェンコ外相は、ベトナムを訪問し、ズン首相、ミン外相及びベトナム経済界代表者等と会談。グリシチェンコ外相は、ミン外相との会談において、政治、貿易・経済、投資、防衛・技術及び文化・人文分野における両国間の協力促進につき協議の後、両外相は今後の両国関係強化のための行動計画に関する共同声明に署名。

▼その他

・5日、アザーロフ首相は、プーチン露首相との電話会談において、露大統領選挙における勝利を祝福し、同氏の勝利は二国間関係活性化のよい契機となる旨発言。

・5日、駐ウクライナ EU 加盟国大使は、ウクライナ外務省がテイシェイラ駐ウクライナ EU 代表部大使は外交の枠を超えた内政干渉を行っているとする非難に対し、テイシェイラ大使との連帯を表明。また、2月29日付アシュトン EU 外務・安全保障政策上級代表の声明を全面的に支持する旨の声明を発表。

・5日、グリシチェンコ外相は、訪問先のプラハにおいて、スウェーデン、英、チェコ、ポーランド及び独外相が4日ニューヨーク・タイムズ紙に寄稿した EU とウクライナとの連合協定の将来を懸念する「ウクライナの転落」と題する共同書簡に対する返答として、ウクライナ政府は公開状を作成している旨発言。

・9日、グリシチェンコ外相は、EUはウクライナを加盟候補国とは見なしていないと思われるものの、ウクライナはポーランド及びトルコのモデルを参考に欧州統合を目指すとする旨の記事を「週の鏡」紙に投稿。

4. 防衛

▼7日、サラマティン国防相のロシア訪問

・7日、サラマティン国防相は、ロシアを公式訪問しセルジュコフ露国防相と会談、二国間軍事協力の現状と展望について議論。

・会談後、サラマティン国防相は、非同盟を堅持し非同盟に基づいて世界の国々との関係を構築し、またこれが世界に受け入れられることを期待する旨発表。

・一方、セルジュコフ露国防相は、NATOとの協力については現実的な問題が残っており、露国防省は、5月3～4日にミサイル防衛に関する国際会議をモスクワで開催予定であり、すべての関係国代表を招待する旨発表。また、ニトカ訓練施設における露軍パイロット訓練の可能性について議論し、ニトカ訓練施設使用に関する協定の草案を準備中であり近いうちにウクライナ側に提示予定である旨発表。

▼その他

・7日、国防省は、NATO本部で開催されるNATO - ウクライナ軍事委員会会合にイリン海軍第一副司令官が参加、多国籍安全イニシアチブと活動におけるウクライナ海軍とNATO諸国との共同参加について議論する旨発表。

5. 二国間関係

▼リトヴィン最高会議議長の訪日(7日～11日)

・8日、リトヴィン最高会議議長は、横路衆議院議長と会談し、原子力エネルギー問題及びその安全性の強化のための日・ウクライナ議会間グループの創設を提案。同日、リトヴィン議長は、平田参議院議長との会談において、ウクライナ・日本両国間の政治対話を一層発展させる必要性を強調。同日、同議長は、岡経団連日本NIS経済委員長兼ウクライナ部会長と会談し、ウクライナは日本を産業、投資、財政分野における戦略的パートナーと見なしている旨発言。また、同議長は、細野原発事故担当大臣と会談し、日・ウクライナ間の原子力安全における協力は体系的なものとなるべき旨発言。

・9日、リトヴィン議長は、徳仁皇太子殿下に御接見。同日、同議長は、野田総理を表敬訪問し、ウクライナは対日関係の発展を外交政策及び経済活動における最優先事項の一つと見なしている旨等発言。また、同議長は、日・ウクライナ友好議連(森英介会長)議員と会談。

・10日、リトヴィン議長は、福島第一原子力発電所を視察し、11日には、名取市で行われた東日本大震災第一回追悼式典に参列。

(了)